

苦しんでいる人を、
放ってはおけない

マザー・テレサに学ぶ奉仕の心



関西JOCSのつどい2018

JOCSは、1960年からアジア・アフリカの医療の足りない地域へ保健医療従事者(ワーカー)を派遣してきました。その数は、70名以上になります。今も3名がバングラデシュ、タンザニアで活動しています。多くのワーカーが、マザー・テレサに影響を受け、その活動へと導かれました。今回は、片柳神父をお迎えして、その心をお聴きします。

2018年2月24日(土) 14:00~16:00

(開場13:30~)

カトリックセンター サクラ ファミリア

大阪市北区豊崎3-12-8 *地下鉄御堂筋線中津駅3番出口から南東へ徒歩2分

プログラム

- 片柳神父による講演会
- 植松功さんによるテゼの歌と祈りのひととき

同時開催

- ハワイエにおいて、片柳神父撮影によるマザー・テレサ写真展
- ネパール、タイ、バングラデシュの手工芸品コーナー
- 片柳神父の書籍販売コーナー

入場無料



片柳弘史 神父

1971年埼玉県生まれ。1994-95年カルカタにてボランティア活動。マザー・テレサから神父になるよう勧められ神父になる。イエズス会司祭。カトリック宇部教会主任司祭。『世界で一番たいせつなあなたへ〜マザー・テレサからの贈り物』(PHP研究所)、『ひめくりすずめ〜いつもそばにいるよ!』(キリスト新聞社)など著作多数。

テゼ共同体について

テゼ共同体(テゼ・コミュニティー)とは、フランスの小村「テゼ」にあるキリスト教の男子修道会。第二次世界大戦のさなか、「和解のしるし」となることを目指して創立され、カトリックとプロテスタントの修道士(ブラザー)たちが、ともに祈りと労働の生活をしています。沈黙の祈り(観想)と苦悩する人々との連帯を大切にすることでも知られ、そこで歌われるシンプルな繰り返しの歌は、世界中で歌われるようになりました。

現在JOCSはバングラデシュに岩本直美さん(看護師)と山内章子さん(理学療法士)を派遣していますが、この派遣のきっかけをつくったのは、バングラデシュに暮らすテゼのブラザーたちでした。

今回、各地でテゼと連帯して開催されている「黙想と祈りの集い」の世話人をされている植松功さんに、テゼの歌と祈りをリードしてもらいます。



バングラデシュ マイメンシンのテゼの聖堂

会場 サクラ ファミリアについて



大阪・梅田にある聖堂で、高層ビルが立ち並ぶエリアに立っています。建て替えに伴ってカトリック北野教会からカトリック大阪梅田教会・カトリック大阪大司教区カトリックセンター サクラファミリアに名称を変更しました。

3階が聖堂で、1階には小聖堂とキリスト教書籍・聖品の販売を行うサンパウロ大阪宣教センターがあります。また2階には上智大学が大阪サテライトキャンパスを設置し、社会人対象の公開講座が開設されるとともにグリーンケア研究所の拠点として機能しています。ノアの方舟のような白いユニークな建物、外観も、内部も一見の価値あります。



JOCSはアジア・アフリカで医療協力を行っているNGOです。

保健医療従事者の派遣



保健医療のサービスが充分でないアジア・アフリカの地域にワーカー(医療従事者)を派遣しています。

奨学金支援



自らの地域にとどまり、その地域の人々のために働きたいと願う現地の医療従事者を奨学金を通し、支援しています。

協働プロジェクト



現地の人々や団体が主体となつて行う保健医療活動を支援しています。

使用済み切手1枚からの国際協力!



使用済み切手を集めて、JOCSへお送りください。切手は換金され、海外での保健医療活動のために役立てられます。

また、JOCSの活動は使用済み切手の他、多くの皆さまからの会費によって支えられています。

- 当日会場に、お手持ちの使用済み切手をお持ちください。
- 当日のボランティアスタッフを募集します。手工芸品販売や会場案内など、詳しくは関西事務局までお問い合わせください。